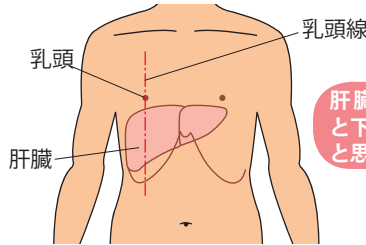




# 肝臓の位置と役割

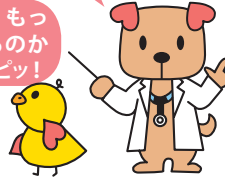
## 『肝心かなめ』の肝臓とは？

体の中で一番大きな臓器である肝臓は、栄養の代謝・貯蔵、解毒、胆汁の生成など、たくさんの重要な仕事をしており「人体の化学工場」と言われています。



『肝心かなめ』の言葉どおり、大変重要な臓器である肝臓は、お腹の右上にあって肋骨に守られています。

肝臓って、もっと下にあるのかと思ってたビッ！



本来、肝臓は再生能力が非常に高く、例えば手術で半分以上切り取っても元の大きさまで再生できます。

それだけに、肝炎を発症してダメージを受けていても自覚症状が無く、適切な時期に治療を受けないまま、気づいた時には肝硬変や肝がんといった再生不可能な病気にまで重症化していることが少なくありません。

肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれているのはこのためです。



## ■ウイルス性肝炎の種類

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスが原因で肝臓に炎症が起きている状態(疾患)をいいます。ここでは主な肝炎ウイルスを挙げます。

種類	感染経路と慢性化の有無	特徴
A型肝炎ウイルス	経口感染 (食べ物を介して感染)	水や生の魚介類からの感染が多く、日本で多い急性肝炎。ワクチンで予防できる。
E型肝炎ウイルス	慢性化しない	海外旅行(特にアジア)での感染の他、野生のシカ、イノシシやブタの生肉から感染することが知られている。
B型肝炎ウイルス ※2ページ上段参照	血液感染 慢性化することがある	感染力は強いが、ワクチンで予防できる。母子感染するものの、出産時のB型肝炎ウイルス感染はほとんど防げるようになった。
C型肝炎ウイルス ※3ページ上段参照		感染すると約80%が慢性化する。放置しておくと、肝硬変や肝がんへの移行率が高い。
D型肝炎ウイルス		日本ではきわめて少ない。D型ウイルスのみでは増殖できず、B型肝炎ウイルスをもっている人に感染する。



誤解や偏見はNG！  
正しく知りたいウイルス性肝炎

## ウイルス性肝炎って？

肝炎とは文字通り、肝臓が炎症を起している状態を指します。

肝臓の病気というと、とかくお酒の飲み過ぎとばかりイメージされがちですが、肝炎の原因として圧倒的に多いのは、A型からE型までである肝炎ウイルスが感染することによって起こるウイルス性肝炎です。(上表参照)

ウイルス性肝炎のうち、慢性肝炎から肝硬変・肝がんへと進む恐れがあり、特に問題視されているのがB型肝炎とC型肝炎です。

日本で肝硬変・肝がんで亡くなる人は年間5万人を超え、その90%近くは、B型とC型肝炎ウイルスが原因です。

ウイルス性肝炎は、肝硬変や肝がんへと重症化してしまう人が少なくないことと、感染についての誤解から偏見があることが問題となっています。

監修

千葉大学大学院医学研究院  
消化器・腎臓内科学

神田達郎 講師



# 「B型肝炎」

医学は進歩しているピッ

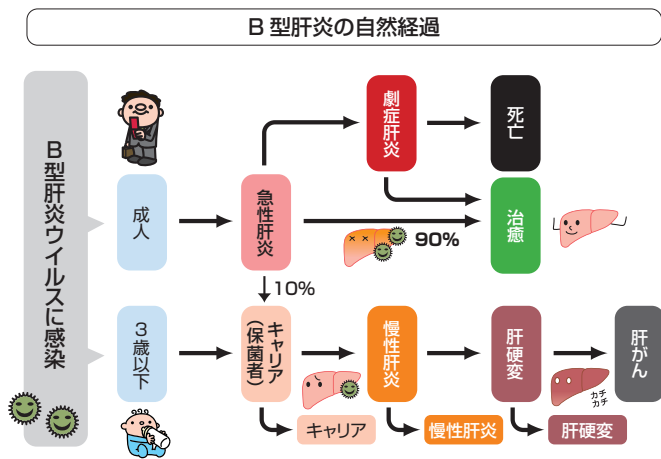


## ■ B型肝炎とは？

B型肝炎ウイルス(HBV)の感染によって起こる肝臓の病気です。C型に比べ感染力は強いのですが、慢性肝炎、肝硬変、肝がんといった病気に進行することは少ないとされています。

日本の感染者の大半は母子感染によるものでしたが、現在では母子感染予防策により、新たな母子感染はほとんど起こらなくなりました。

## <経過>



独立行政法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター「B型肝炎について」[http://www.kanen.ncgm.go.jp/forpatient\\_hbv.html](http://www.kanen.ncgm.go.jp/forpatient_hbv.html) 図4 感染年齢によるB型肝炎の経過の違いより一部改変

## <症状>

B型慢性肝炎ではほとんどの場合、自覚症状はみられません。

ただし、肝炎が急激に悪化すると、疲れやすい、だるい、食欲がない、尿が黒褐色のような色になるといった症状が現れることがあります。感染後は、一生肝機能が安定したままの人がおよそ80～90%。残りの10～20%の人は慢性肝炎へと移行し、その中から肝硬変、肝がんになる人もいます。



## <感染経路>

空気感染や経口感染はなく、主に、感染している人の血液が他の人の血液のなかに入ることによって感染します。

また、体液を介して感染することがあり、近年、性交渉による感染が増えていますので注意が必要です。

パートナーがB型肝炎ウイルスキャリアであっても、ワクチンの接種により感染を予防することができるだけに、肝炎の検査を受けて、「知らない間にかからない・うつさない」ようにしていくことが大切です。

知らない間に感染してしまうかもしれないピッ



### ● 劇症肝炎

急性肝炎のうち、発症から8週間以内に高度の肝機能障害を起こすものをいいます。(生存率は30%ほど)

### ● 急性肝炎

A型、B型、E型によるものが多いです。急速に肝細胞が破壊され、風邪に似た症状が始まり、発熱、けん怠感、黄疸などの症状が出るが、数か月で症状がおさまることが多いです。

### ● 慢性肝炎

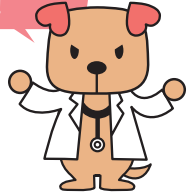
B型、C型によるものが多く、長期間にわたり軽度の肝臓障害が続き、肝硬変や肝がんになっていることがあります。ウイルス性肝炎は、病気の進み具合により、次の3つに分類されます。

B型とC型肝炎ウイルスの患者・感染者の合計は三〇〇万人を超え、「国内最大の感染症」と言われています。

その中には、肝炎ウイルスの感染経路がわかっていなかった時代での輸血や、集団予防接種における注射器の使いまわしなどにより感染した人が数多くいると推定されています。

# 「C型肝炎」

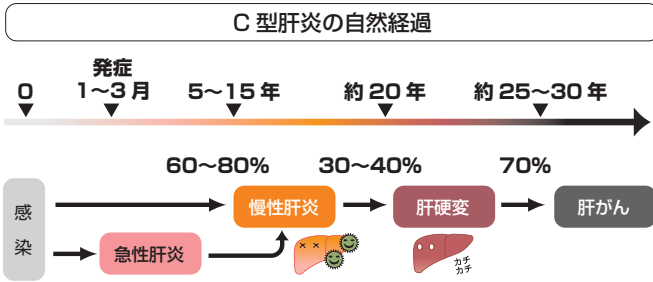
予防のワクチンなし！  
初期症状なし！



## ■ C型肝炎とは？

C型肝炎ウイルス(HCV)に感染することによって発症する肝炎です。B型と違い、感染予防のワクチンはありません。C型肝炎から、肝硬変や肝がんに移行する率が高く、現在肝がん患者の約80%はC型肝炎が原因となっています。

### <経過と症状>



独立行政法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター「C型肝炎」  
[http://www.kanen.ncgm.go.jp/forpatient\\_hcv.html](http://www.kanen.ncgm.go.jp/forpatient_hcv.html) 「C型肝炎経過図」より一部改変

C型肝炎という病は、罹患しても初期には自覚症状はほとんどないため、気づかないまま放置していると、長い経過のうちに肝硬変や肝がんまでいたることがあります。病気が進むと治療も難しくなるため、早めに検査して、感染の有無を確認することが重要です。

### <感染経路>

空気感染や経口感染はなく、主に、感染している人の血液が他の人の血液のなかに入ることによって感染します。

近年では、ピアスや入れ墨、覚せい剤などの回し打ち、不衛生な状態での鍼治療などによる感染が問題となっています。B型とは異なり、母子感染や性交渉による感染はごくまれとされています。



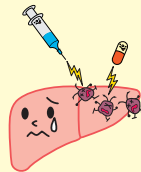
### < B型肝炎とC型肝炎の治療 >

B型・C型肝炎の治療は、大きく分けて、抗ウイルス療法と、肝庇護療法があります。

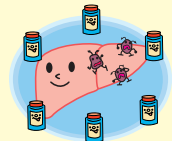
抗ウイルス療法は、インターフェロンなどの薬を用いて、肝臓からウイルスを完全に排除することを目指す治療法です。

肝庇護療法は、文字通り肝臓をウイルスからかばい庇護する対症療法です。ウイルスに対する直接的な効果はありませんが、肝炎の炎症を抑え、慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと進行する可能性をより小さなものにします。

※ 肝炎ウイルスに感染しても、症状が出ないまま終わる場合や、すぐに治療が必要ではない場合もあります。治療は、症状と体の状態に合わせて選びます。



【抗ウイルス療法】  
ウイルスを攻撃。  
ウイルスの完全排除を目指す。



【肝庇護療法】  
肝臓を保護。  
ウイルスに直接的効果はないが、炎症を抑え病気を抑制する。

正しく知って、  
肝炎も偏見も防ぼう

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査でわかります。

検診などで肝炎ウイルスの感染が判明しながら、体調が悪くないからと受診しない人がいますが、「沈黙の臓器」と呼ばれる肝臓は、弱っていても症状が出にくいため、油断は絶対禁物です。

肝炎ウイルスの感染がわかったら必ず医療機関を受診し、適切な指導や治療を受けてください。肝炎ウイルスのキャリア（ウイルスを保有している人をキャリアと呼ぶ）であっても、定期的に肝臓の状態をチェックしながら状態に見合った健康管理に努めれば、日常生活の制限などはほとんど必要ありません。

また、肝炎については「入浴や食器からうつるのでは」などの誤解が今も残っていますが、肝炎ウイルスが日常生活で感染する可能性はまず無いことを、しっかりと覚えておきましょう。

### 治療も公的サポートも進化

かつて肝炎の治療といえば、高額な治療費、入院、強い副作用などの問題がありました。しかし近年は、外来でも治療が可能となり、B型およびC型肝炎の有

# 正しく知って、感染も偏見も防ぎましょう!

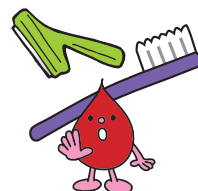
肝炎ウイルスは、血液を介して人から人へと感染します。  
したがって、肝炎ウイルスの感染予防に当たっては、他人の血液に安易に触れないようにすることが重要です。

ただし、肝炎ウイルスは空気感染しませんので、常識的な注意事項を守っていれば、日常生活でうつることはまずあり得ません(他人の血液に触れることの多い、医療従事者のような場合は除きます)。



## <感染しないための注意事項>

- 歯ブラシ、カミソリなど血液が付いている可能性のあるものを共用しない
- 他の人の血液に触れるときは、ゴム手袋を着ける
- 注射器や注射針を共用して、非合法の薬物(覚せい剤、麻薬等)の注射をしない
- 入れ墨やピアスをするときは、適切に消毒された器具であることを必ず確かめる
- 性行為にはコンドームを使用する



## ■ワクチン接種について

\* B型肝炎ワクチンは、B型肝炎の予防として、免疫をつける不活化ワクチンです。

※B型肝炎ウイルスを持った母親から生まれた赤ちゃんには保険診療で予防できますが、一般的には任意接種として自費になります。

\* C型肝炎ワクチンは、現在のところ開発されていません。

\* A型肝炎ワクチンは、A型肝炎の予防として、免疫をつける不活化ワクチンです。A型肝炎は日本ではほとんど感染の機会がありませんが、世界では途上国を中心にA型肝炎の流行があるため、流行地に渡航する前にはA型肝炎ワクチンを接種して、免疫をつけておくことが望まれます。

(不活化ワクチン…不活化ワクチンは、病原性を無くした細菌やウイルスの一部を使ったワクチンです。生ワクチンに比べて免疫力が弱いので、何回かに分けて接種します。)

## <こんなことでは感染しません!>

せき、くしゃみ、握手、抱擁、食器やコップの共用、トイレ、入浴、プール、つり革、手すり、ハエ、蚊などでは感染しません。正しい情報をぜひ知ってください。



まちがえないでね!

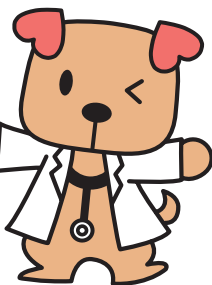


40歳以上の人は特に、一度はウイルス性肝炎の検査を行いましょう!

我慢強くて働き過ぎちゃう肝臓の声を、早く聞いてあげてピッ!



検診



効治療に対する医療費の助成も行われています。

ここ数年で治療薬の開発も進み、以前より少ない副作用で、感染の影響をかなり抑え込むことができるようになり、場合によっては完治も期待できる時代となってきました。

千葉県では、県内の全健康福祉センター(保健所)や県が委託した病院や診療所において、B型・C型肝炎ウイルス検査を無料で受けることができます。(平成26年4月現在)詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。